

<その他、取組に特徴のある事例>

○集落全体で特産地を守る

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県喜多郡内子町 川登			
協定面積 41.4ha	田 (2%)	畑 (98%)	草地	採草放牧地
	水稲、野菜	落葉果樹		
交付金額 241万円	個人配分			70%
	共同取組活動 (30%)	役員手当等		3%
		鳥獣害防止対策費(柵設置の日当)		25%
		農道等修繕費、その他		2%
協定参加者	農業者 43人			開始：平成17年度

2. 取組に至る経緯

川登集落は、旧内子町と旧小田町との境付近にあり、地域の中心を流れる小田川に沿って耕地と宅地が点在し、標高 230～250m の段丘地に果樹園等が広がっている。急傾斜地が多く基盤整備も行われていないが、内子町における柿の代表的な産地の一つである。また、落葉果樹(柿、ブドウ等)を中心に、自家消費向けの米、野菜なども栽培されている。

しかし、高齢化及び後継者不足に悩まされ、なんとか集落を活性化させようと平成 17 年度から本制度に取り組んでいるが、近年は、イノシシ等による鳥獣被害、柿の価格下落などに悩まされている。

3. 取組の内容

- 鳥獣害防止の一環として 22 年から箱罾等の設置を実施。さらに本年度は平成 24 年度鳥獣被害防止総合対策交付金の整備事業の一環でワイヤーメッシュを設置し(交付対象面積における受益面積は約 22ha)、集落一体となって対策を実施している。
- 集落で堆肥散布車を 2 台購入して堆きゅう肥の施肥を行い、おもに果樹畑の地力の増進に努めている。
- 柿の栽培においては、収穫の時期を考慮して、富有柿、太秋柿、松本早生等に別けて栽培しており、労務負担の軽減を図っている。



【集落での総会の様子】



【堆きゅう肥の施肥の様子】

【集落の将来像】

- 農地の保全に努め、現在の農村景観を維持していく。
また、集落の基幹産業として現状の規模を維持し、集落の活性化につなげていく。



【将来像を実現するための活動目標】

1. 農道・水路の維持管理 2. 鳥獣害防止対策 3. 地力増進活動(堆きゅう肥の施肥)

農業生産活動等

多面的機能増進活動

農地の耕作・管理 (田 0.7ha、畑 40.7ha) 個別対応	農地法面の定期的な点検 (随時) 共同取組活動	堆きゅう肥の施肥 (年1回) 共同取組活動、個別対応
水路・作業道の管理 ・水路 1.0km、年2回 清掃、草刈り ・道路 4.3km、年2回草刈り 共同取組活動	鳥獣害防止対策(ワイヤ ーメッシュ、箱罾等の設 置) 共同取組活動	

4. 今後の課題等

集落ぐるみで設置したワイヤーメッシュの設置の効果については、今後検証していく必要がある。

また、柿の価格下落については、集落だけでなく自治体等の関係機関とも連携して、対策を検討していく必要がある。

【第2期対策の主な成果】

- 水路・農道の維持管理とともに周辺林地の下草刈りを行うことにより、集落の景観が維持された。
- 豪雨等による農道等での災害に迅速に対応することで、集落の景観及び耕作環境が維持された。